

ホンジュラス政治経済情勢（２０１９年９月）

在ホンジュラス日本大使館

１ 内政

（１） ２０２１年大統領選挙に向けた動き

ア ２５日付当地主要紙ラ・プレッサは、CID-Gallup 社が全国の満１８歳以上の国民１，５６８名に対し、９月６～１４日にかけて実施した世論調査結果を発表したところ、主な政治家の評価は以下のとおり（肯定的評価が高い順）：

	肯定的評価	否定的評価
アスフラ・テグシガルパ市長（国民党）	４５％	２４％
セラヤ・リブレ党幹部（元大統領）	４１％	４２％
エルナンデス大統領（国民党）	３８％	５４％
シオマラ・セラヤ氏（セラヤ・リブレ党幹部娘）	３１％	３８％
カリックス・リブレ党議員	２７％	２２％
アルバレス大統領代行（副大統領）（国民党）	２７％	４７％
オリバ国会議長（国民党）	２４％	３７％
ジャニ・ロセンタル氏（企業家、自由党）	２４％	３３％

イ １２日、ＥＵを外遊中のサンチェス国民党党首はＥＵに対し、国民党予備選挙の透明性を確保するための選挙監視団派遣を正式に要請。

ウ １０日、国家選挙審議会（ＣＮＥ）、選挙裁判所（ＴＪＥ）及び国民登録局（ＲＮＰ）の委員選任にかかる国会採決が実施され、各機関とも、正委員３名は国民党（与党）、自由党（野党）及びリブレ党（野党）から各１名ずつ選出された。

エ ２３日、ＣＮＥ、ＴＪＥ及びＲＮＰの委員長の持ち回り順が決定。大統領選挙が実施される２０２１年は、ＣＮＥ委員長を国民党委員、ＴＪＥ委員長を自由党委員、ＲＮＰ委員長をリブレ党委員が担当。

オ ２５日、国会は、新たな国民ＩＤカードの作成・発行事業のため、中米経済統合銀行（ＢＣＩＥ）から２，４００万米ドルの融資を受けることを承認。

（２） 汚職

ア ４日、反汚職裁判所は、公金不正流用及び詐欺罪に問われていたボニージャ被告人（ロボ前大統領夫人）に対し、禁固刑５８年の判決を下した。なお、新刑法が施行された場合、同法該当規定の遡及適用により、同被告の刑期は２１年３か月に短縮されると見られている。

イ ４日、ニューヨーク州南地区連邦検察局は、エルナンデス大統領の従兄弟と言われているマウリシオ・エルナンデス・ピネダ元国家警察幹部を、トニー・エルナンデス被告人（エ

ルナンデス大統領実弟／米国にて裁判中）らと共謀して米国にコカインを密輸した罪で起訴。

ウ 15日、アルゲタ最高裁長官は、新刑法において汚職等の違法行為に対する罰則が軽減されることに懸念を表明し、同法施行を2020年下半期まで延長すべきである旨述べた。

エ 18日、ヒューイ当地駐在の米国臨時代理大使はチンチージャ検事総長と会談し、ホンジュラス対汚職・無処罰支援ミッション（MACC I H）の任期延長を要請。

オ 24日、MACC I Hは、農業開発銀行（BANADESA）の資金11.4百万レンピラ（約46万米ドル）が架空組織等を通じて不正使用されたとする「車両汚職」事件につき捜査を行っている旨発表。同資金は与党国民党の選挙活動用の警備車両調達に用いられ、カロール・アルバラード氏（ガルダメス元天然資源・環境大臣夫人）のほか、故イルダ・エルナンデス前情報戦略大臣（エルナンデス大統領の実姉）の娘アンドレア・ガエケル氏など、複数の政府関係者が本件に関与したと見られている。

2 外交

- （1） 1日、エルナンデス大統領は、訪問中のイスラエルにおいて、ネタニヤフ・イスラエル首相とともに在エルサレム当国通商事務所の開設式典に出席。
- （2） 16日、アグエロ新駐米ホンジュラス大使（前外務・国際協力大臣）は、トランプ米大統領に対して信任状を捧呈。
- （3） 25日、ニューヨークにおいて、エルナンデス大統領及びトランプ米大統領立会いの下、ロサレス当国外務・国際協力大臣及びマカリーナン米国土安全保障長官代行による、米・ホンジュラス間の「保護請求の審査に関する協力協定」への署名が行われた。同協定には、移民対策だけでなく、建設、農業、看護及びクルーズ観光の分野における米国就労ビザ発給による雇用創出、投資及び治安対策が含まれる。
- （4） 25日、エルナンデス大統領は、ニューヨークで開催された第74回国連総会で一般討論演説を行い、マドゥーロ前大統領率いるベネズエラは、セラヤ・リブレ党幹部をホンジュラスにおけるパートナーとし、当国の不安定化を図ろうとする企てに関与しているとして非難。

3 経済

- （1） 2日付当地主要紙エル・エラルドは、政府は8月までに約8.5億米ドルの公的債務返済を実施し、そのうち65%は国内債務、35%は対外債務であった旨報じる。
- （2） 5日付当地主要紙エル・エラルドは、財務省報告書によると、本年上半期の電力公社（ENEE）の赤字はGDP比0.3%で、12月には計画値の2倍に相当する0.8%に達する見込みである旨報じる。
- （3） 6日、エルナンデス大統領は、干ばつの影響で、多くの地域で農産物の収穫量が対前年比5

0～60%減になるとの見通しから、農業分野における国家緊急事態を宣言。

- (4) 8日、デラスE N E E総裁は、建設計画の不備等により稼働が大幅に遅れているパトゥカⅢ水力発電所に関し、雨不足が起こらない限り2020年1月より稼働させる旨発表。
- (5) 13日、デラスE N E E総裁は、過去5年間に締結された電力購入契約198件中、契約違反によるE N E Eとの訴訟や、設備・資金不足等の理由により、107件が契約不履行である旨発表。E N E Eの抱える負債は国家財政に深刻な影響を及ぼしており、契約の見直し・再交渉は重要課題となっている。
- (6) 18日、国会は、送電インフラ改善のため、IDBから1億5,500万米ドルの融資を受けることを承認。
- (7) 23日付当地主要紙エル・エラルドは、海外送金額が9月中旬までに37億米ドルに達し、前年同月比で11.5%増加した旨の中銀報告につき報じる。
- (8) 29日、中銀は、輸出品の価格下落及び投資減少により、第2四半期のGDPが前期比2%減少した旨発表。

<主要経済指標>

◇主要経済指標◇	2019 年				2018 年	2017 年
	9月	8月	7月	6月		
インフレ率（前年同月比）	4.42%	4.29%	4.69%	4.80%	4.22%	4.73%
貿易収支(百万ドル)	未発表	—	—	△1,374.3	△3,530.6	△2,677.0
輸出(百万ドル)	未発表	—	—	4,485.9	8,669.3	8,646.5
輸入(百万ドル)	未発表	—	—	5,860.2	12,200.0	11,323.5
外貨準備高（百万ドル）	5,026.5	5,063.6	5,068.3	5,062.9	4,853.1	4,785.6
外国からの送金（百万ドル）	未発表	—	—	2,507.7	4,759.9	4,305.3
為替レート（対ドル月平均）	24.67	24.71	24.67	24.68	24.07	23.65

<出典：ホンジュラス中央銀行> ※貿易収支，輸出，輸入，外国からの送金は，四半期毎に発表

(了)